



業も切り捨ててしまい、心に残りません。昨日のことやその前のことまで持ち出して蒸し返されても、子どもにとってはやりきれないだけです。過ぎたるは及ばざるが如し。で効果もありません。

また、子どもを叱るとき、親も感情に巻き込まれがちです。しかし、頭を冷やすことが必要でしょう。感情的に発した言葉は効果的ではありません。

子どもには、ひと言でピシッと叱るほうが効き目があります。叱るときは、今のこ

『あれもこれも口出ししない』

「昔」のことではなく、「今」のことだけ叱る
 複数のことを一度に叱らない

「早くしないと遅刻しますよ！」ですめばいいのですが、つい「あなたはいつもぐずぐずしているから、支度が遅いのよ。毎朝同じことを言わせないでよ。昨夜のうちからちゃんとしておかないから。昨日もそうだったでしょ。ほら宿題ちゃんとかったの？ 忘れ物しないで！ 気をつけるのよ！」など、言い出したらきりがなくお母さんの叱責と注意は続きますが、急いでいる子どもの耳に入るでしょうか。

一つのことを言い出すと、それと関連したいろいろな光景が目に見えてくるので、一つが、子どもは、「また同じことを蒸し返して、うざいな」など、せっかくの言